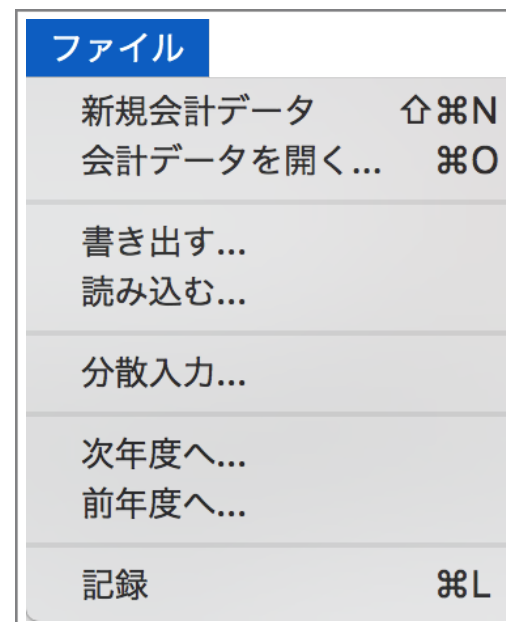


ファイルメニュー

ファイルメニューでは以下の機能を実行することができます。

新規会計データ	新規データベースを作成し、複数の別会社や本支店、分散入力データ等が作成できます。
会計データを開く	複数作成された会計データ（別会社や本支店会計データ等）を切り替えます。
書き出す	本支店会計で使用します。 全社データからは勘定科目を書き出す際に使用します。 本支店データからは開始残高や仕訳データを書き出します。
読み込む	本支店会計で使用します。 全社データでは、本支店データで書き出した開始残高や仕訳データを読み込みます 本支店データでは全社データで書き出された勘定科目を読み込みます。
分散入力	分散入力の際、母体（主）データから分散入力データとの間で科目等の設定情報を送受信します。
次年度へ	次年度へ繰越します。
前年度へ	前年度へ戻します。
記録	いろいろなログが保存されます。また利用者の備忘録として自由なメモを保存できます。

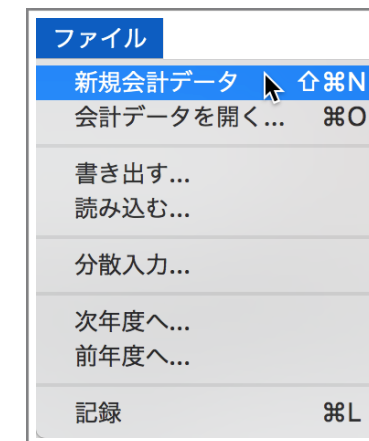


新規会計データ

複数の会社や別の組織の会計をおこなう場合や、本支店会で各店の会計データを作成する場合、分散入力をおこなう場合にデータファイルの作成します。

ダイアログが表示されますので、任意の名前を入力して保存します。新規データファイルはデフォルトデータフォルダに生成されます。

新しいデータファイルを作成しますと、データベースが切り替わります。



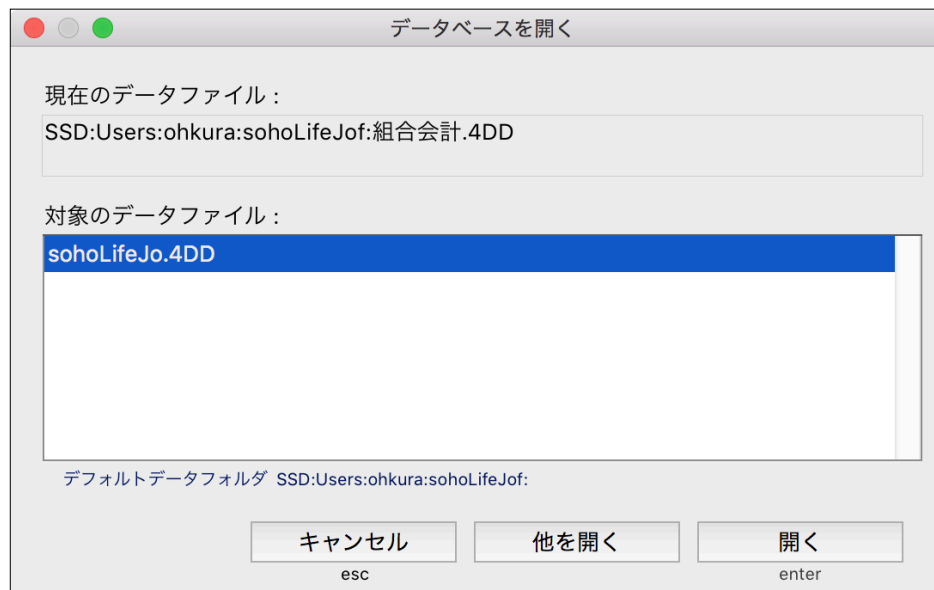
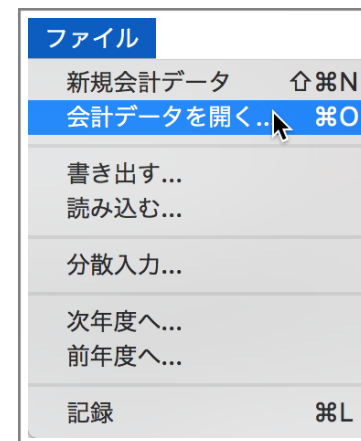
会計データを開く

「新規会計データ」メニューで生成した複数の会計データ（データファイル）を切り替えます。

デフォルトデータフォルダ内にあるデータファイルと、現在のデータファイルの階層にあるデータファイルが表示されますので、任意のデータファイルをWクリックもしくは選択して開くボタンを押します。

また「他を開く」ボタンで他のフォルダにある任意のフォルダのデータファイルを開くこともできます。ダイアログが表示されますので拡張子が「4DD」のファイルを選択し開いて下さい。

以上で会計データの切り替えができます



書き出す / 全社データの場合

本支店会計をおこなうためのメニューです。

本支店会計をおこなう場合、まず、全社会計データを作成する必要があります。最初に作成されるデフォルトのデータファイル「sohoLifeJo.4DD」を全社としてもいいでしょうし、新たに全社データを作成しても結構です。

本支店会計をおこなう際の勘定科目を登録できるのは全社データのみです。勘定科目を各本支店のデータファイルで共通して利用するために、勘定科目を書き出します。書き出されたXMLファイルを、各本支店データに切替て読み込ませ全社及び各本支店データの勘定科目を統一します。

書き出し

全社共通の勘定科目を書き出します。
新規導入時や科目の追加、変更、削除時に書き出し、各本支店の会計データに読み込むことで、全社レベルで科目の統一をおこないます。

書き出しフォルダ : フォルダを変更

SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:

キャンセル 前に戻る 次へ

esc enter

書き出し

全社共通の勘定科目を書き出します。
新規導入時や科目の追加、変更、削除時に書き出し、各本支店の会計データに読み込むことで、全社レベルで科目の統一をおこないます。

書き出しファイル :

SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:共通勘定科目.xml

キャンセル 前に戻る 書き出し

esc enter

書き出し

全社共通の勘定科目を書き出します。
新規導入時や科目の追加、変更、削除時に書き出し、各本支店の会計データに読み込むことで、全社レベルで科目の統一をおこないます。

結果 :

全社共通の勘定科目を「SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:共通勘定科目.xml」に書き出しました。

キャンセル 前に戻る 完了

esc enter

ファイル

新規会計データ ⌘N
会計データを開く... ⌘O

勘定科目を書き出す... ⌘L マウスカーソル
残高仕訳を読み込む...

分散入力...

次年度へ...
前年度へ...

記録 ⌘L

書き出す / 本支店データの場合

各本支店データで書き出すデータは、勘定科目別の「開始残高」、もしくは月単位の「勘定科目別貸借金額合計」を書き出します。

書き出したデータは全社データ側で読み込むことになります。

開始残高 もしくは 仕訳
開始残高は導入開始時 1 回だけです

書き出し

本支店の会計データから勘定科目別の開始残高や月単位の貸借金額を書き出します。
(書き出したデータは全社の会計データに読み込みます)

書き出しフォルダ：

フォルダを変更

キャンセル esc 前に戻る 次へ enter

書き出し

本支店の会計データから勘定科目別の開始残高や月単位の貸借金額を書き出します。
(書き出したデータは全社の会計データに読み込みます)

☐ 開始残高 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決算

☒ 仕訳

※5月の残高の貸借を仕訳データにて書き出します。

書き出しファイル：

キャンセル esc 前に戻る 書き出し enter

書き出し

本支店の会計データから勘定科目別の開始残高や月単位の貸借金額を書き出します。
(書き出したデータは全社の会計データに読み込みます)

【結果】

5月 の残高の貸借を仕訳データにて「SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:本社1期5月仕訳.xml」に4件書き出しました。

キャンセル esc 前に戻る 完了 enter

ファイル

新規会計データ ⌘N

会計データを開く... ⌘O

残高仕訳を書き出す... ⌘L

勘定科目を読み込む...

分散入力...

次年度へ...

前年度へ...

記録 ⌘L

読み込む / 全社データの場合

各本支店データで書き出された開始残高や勘定科目別の貸借金額データを、全社会計データへ読み込みます。

すべての本支店データを読み込みことで全社レベルの合計残高試算表や決算書を集計・表示・印刷することができます。

読み込み

各本支店の会計データから書き出された開始残高や貸借金額を、全社の会計データに読み込みます。

読み込みフォルダ：

フォルダを変更

SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:

キャンセル
esc

前に戻る

次へ
enter

読み込み

各本支店の会計データから書き出された開始残高や貸借金額を、全社の会計データに読み込みます。

ファイル名	結果
本社1期5月仕訳.xml	

※正常に読み込まれたファイルは削除されます

キャンセル
esc

前に戻る

読み込み
enter

読み込み

各本支店の会計データから書き出された開始残高や貸借金額を、全社の会計データに読み込みます。

ファイル名	結果
本社1期5月仕訳.xml	【処理済】 4件が正常に読み込まれました。

※正常に読み込まれたファイルは削除されます

キャンセル
esc

前に戻る

完了
enter

ファイル

新規会計データ
会計データを開く...

勘定科目を書き出す...

残高仕訳を読み込む...

分散入力...

次年度へ...

前年度へ...

記録

⌘N

⌘O

⌘L

読み込む / 本支店データの場合

全社会計データで書き出された勘定科目を読み込んで、各本支店会計データを全社の勘定科目と統一します。

読み込み

全社の会計データで書き出された「共通勘定科目.xml」を読み込み、この本支店の会計データを全社の勘定科目と同一にします。

読み込みフォルダ：

フォルダを変更

SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:

キャンセル
esc

前に戻る

次へ
enter

読み込み

全社の会計データで書き出された「共通勘定科目.xml」を読み込み、この本支店の会計データを全社の勘定科目と同一にします。

読み込むファイル：

SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:共通勘定科目.xml

キャンセル
esc

前に戻る

読み込む
enter

読み込み

全社の会計データで書き出された「共通勘定科目.xml」を読み込み、この本支店の会計データを全社の勘定科目と同一にします。

結果：

全社共通の勘定科目が「SSD:Users:ohkura:Library:Application Support:sohoLifeJo:sohoLifeJo:Share:共通勘定科目.xml」から読み込まれました。
199件の科目が追加されました。

キャンセル
esc

前に戻る

完了
enter

ファイル

新規会計データ ㊦ ⌘N

会計データを開く... ⌘O

残高仕訳を書き出す...

勘定科目を読み込む...

分散入力...

次年度へ...

前年度へ...

記録 ⌘L

分散入力 / 母体（主）データにて

母体（主）データで科目等の変更が生じた際は、分散入力先と統一する必要があります。

母体データ側で接続待ち受けをします。

分散入力先へ科目等送信

母体の会計データ「全社」を他のパソコンで分散入力するためには、分散入力するパソコンのデータの科目を同じにします。
データファイル作成時や科目等の追加、変更、削除時に I P 通信にて直接科目を送信し同期します。

このパソコンのIPアドレス: 192.168.0.10 ※リモート先（分散入力）で指定
リモート接続パソコンのIPアドレス: ※ブランクの場合はすべてのパソコンからの接続に待機
ポート番号: 19591 ※リモート接続パソコンと同じポート番号を入力
時間切れ: 30 秒

デフォルト

キャンセル esc 前に戻る 接続待ちを開始 com enter

ファイル

新規会計データ ㏹N
会計データを開く... ㏹O

書き出す...
読み込む...

分散入力... ㏹L

次年度へ...
前年度へ...

記録 ㏹L

母体（主）データのP CのIPアドレスを入力します

分散入力 / 分散入力データにて

接続待ち受けをしている母体（主）データから科目等の情報を接続を開始して受信します。

母体会計データから科目等を受信

母体会計データ「本社分散」をこのパソコンで分散入力するには科目を同じにする必要があります。
このパソコンの新規データ作成時や科目等の追加、変更、削除時にIP通信にて直接科目を受信し同期します。

このパソコンのIPアドレス: 192.168.0.11
接続先パソコンのIPアドレス: 192.168.0.10 ※接続先（母体データ）のIPアドレスを入力
ポート番号: 19591 ※接続先と同じポート番号を入力
時間切れ: 30 秒

デフォルト

キャンセル esc 前に戻る 接続を開始 com enter

接続して設定情報を受信します

次年度へ

会計年度を次年度へ繰り越します。

前年度への戻し、次年度への繰越は何度でも可能です。

次年度へ

会計年度を次年度へ繰り越します。

当期： 第1期 H31.01.01～R1.12.31 から
次期： 第2期 R2.01.01～R2.12.31 へ

新年度の残高は新たに作成されます。

キャンセル esc 前に戻る 次年度へ繰越 enter

ファイル

新規会計データ ㊦ ⌘N
会計データを開く... ⌘O

書き出す...
読み込む...

分散入力...

次年度へ...
前年度へ...

記録 ⌘L

次年度へ

会計年度を次年度へ繰り越します。

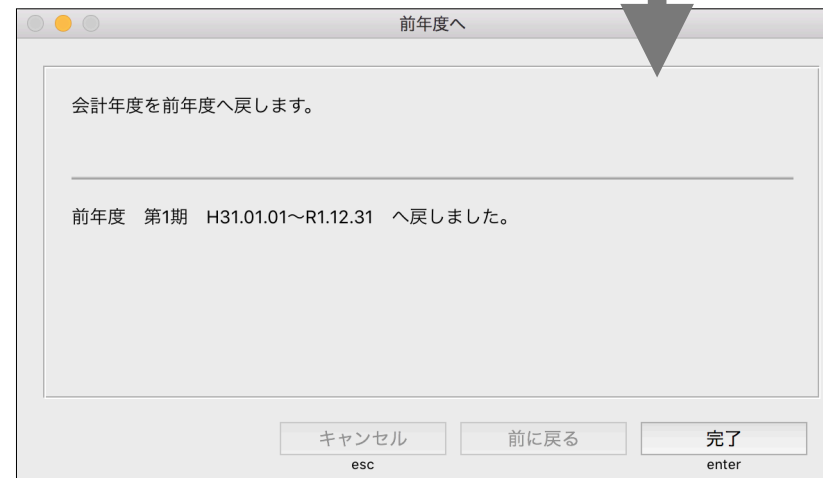
第2期 R2.01.01～R2.12.31 へ繰越しました。

キャンセル esc 前に戻る 完了 enter

前年度へ

会計年度を前年度へ戻します。

前年度へ戻し、次年度への繰越は何度でも可能です。



記録

各種ログが記録されます。また、あなたの備忘録として、メモしておきたいことを保存することができます。

[illegible]

更新：記録

3 of 3

記録

削除

先頭

前

次

最終

com enter

esc

保存

キャンセル

件名：決算処理業務

内容：

- 棚卸在庫の確定と振替
- 貯蔵品の確定と振替
- 銀行残高証明書
- 科目内訳書
- 役員報酬一覧表
- 元帳、決算書の印刷
- 株主資本変動計算書
- 個別注記表

作成日：19/05/12
作成時：16:39:21
更新日：00/00/00
更新時：00:00:00

状況：